

**藤岡市地球温暖化対策実行計画
(事務事業編)**

令和 3 年度実績報告書

令和 4 年 7 月

藤 岡 市

目 次

第 1 章 計画の概要.....	1
1 計画の期間	1
2 計画の対象範囲.....	1
3 計画の目標	2
第 2 章 温室効果ガスの排出状況	3
1 温室効果ガスの総排出量	3
2 活動別の温室効果ガスについて.....	4
(1) 燃料の使用	4
(2) 電気の使用	6
(3) 廃棄物の焼却	7
(4) その他.....	9
(5) 環境配慮項目（上水道・用紙）の使用量.....	10
3 総括.....	11
4 資料 1 対象施設一覧.....	13
資料 2-1 令和 3 年度活動別温室効果ガス排出量の内訳.....	15
資料 2-2 基準年度(平成 27 年度)活動別温室効果ガス排出量の内訳.....	16
資料 3-1 令和 3 年度所属別温室効果ガス排出状況.....	17
資料 3-2 基準年度(平成 27 年度)所属別温室効果ガス排出状況.....	18

第1章 計画の概要

本市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づく地方公共団体実行計画として、「藤岡市地球温暖化対策実行計画（以下、実行計画という）」を平成19年9月に策定し、市自らの事務・事業から排出される温室効果ガスの削減に取り組んできました。

現在、平成29年3月に策定した第3期実行計画に基づき市の事務・事業に対する地球温暖化対策を推進しており、本報告書は、第3期計画の実施状況を取りまとめたものです。

1 計画の期間

基準年度を平成27年度とした、平成29年度から令和4年度までの6年間

2 計画の対象範囲

(1) 対象となる事務・事業（対象施設については資料1参照）

市庁舎及び出先機関を含めたすべての市の組織及び施設等に係る事務・事業を対象とします（指定管理者制度により民間事業者等に管理運営を委託している施設等も含む）。

(2) 対象となる温室効果ガス

二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）とします。法律で対象としているパーフルオロカーボン（PFC）及び六フッ化硫黄（SF₆）については、市の事務・事業からは排出につながる活動がない、あるいは排出量の把握が困難であるため対象外としています。

表1 基準年度（平成27年度）の温室効果ガス排出量と排出要因

種類	ガス排出量 (t)	地球温暖化 係数	CO ₂ 換算量 (t-CO ₂)	CO ₂ 排出量 割合
<u>CO₂(二酸化炭素)</u> 我が国における温室効果ガス排出量の9割以上を占めている。 要因：化石燃料の燃焼、電気の使用、廃プラスチックの焼却等	16,187	1	16,187	97.32%
<u>CH₄(メタン)</u> 天然ガスの主成分。有機物が嫌気状態で腐敗・発酵する際に生じる。 要因：自動車の走行、廃棄物の焼却等	0.039	25	1	0.01%
<u>N₂O(一酸化二窒素)</u> 窒素酸化物。 要因：自動車の走行、廃棄物の焼却等	1.482	298	442	2.65%
<u>HFC(ハイドロフルオロカーボン)</u> 代替フロンとして冷媒等に使用されている。 要因：カーエアコンの使用	0.002	1,430	3	0.02%
計			16,633	100.00%

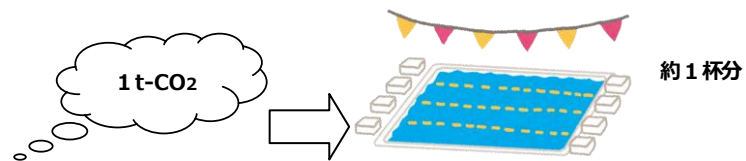
3 計画の目標

基準年度を平成 27 年度とし、平成 29 年度から令和 4 年度までの 6 年間で、温室効果ガス総排出量を**毎年 1%、6 年間で 6%以上削減**することを目標としています。

たとえば・・・

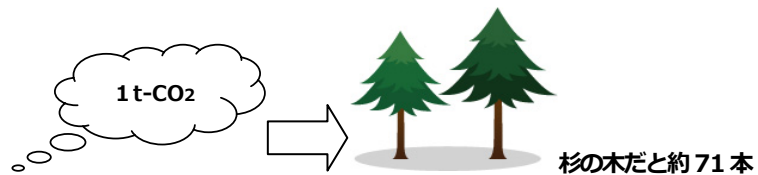
温室効果ガス 1 t の体積は 25m プール 1 杯分とほぼ等しい量となります。

※プールは 25m×13m×1.5m の一般的なもの



また・・・

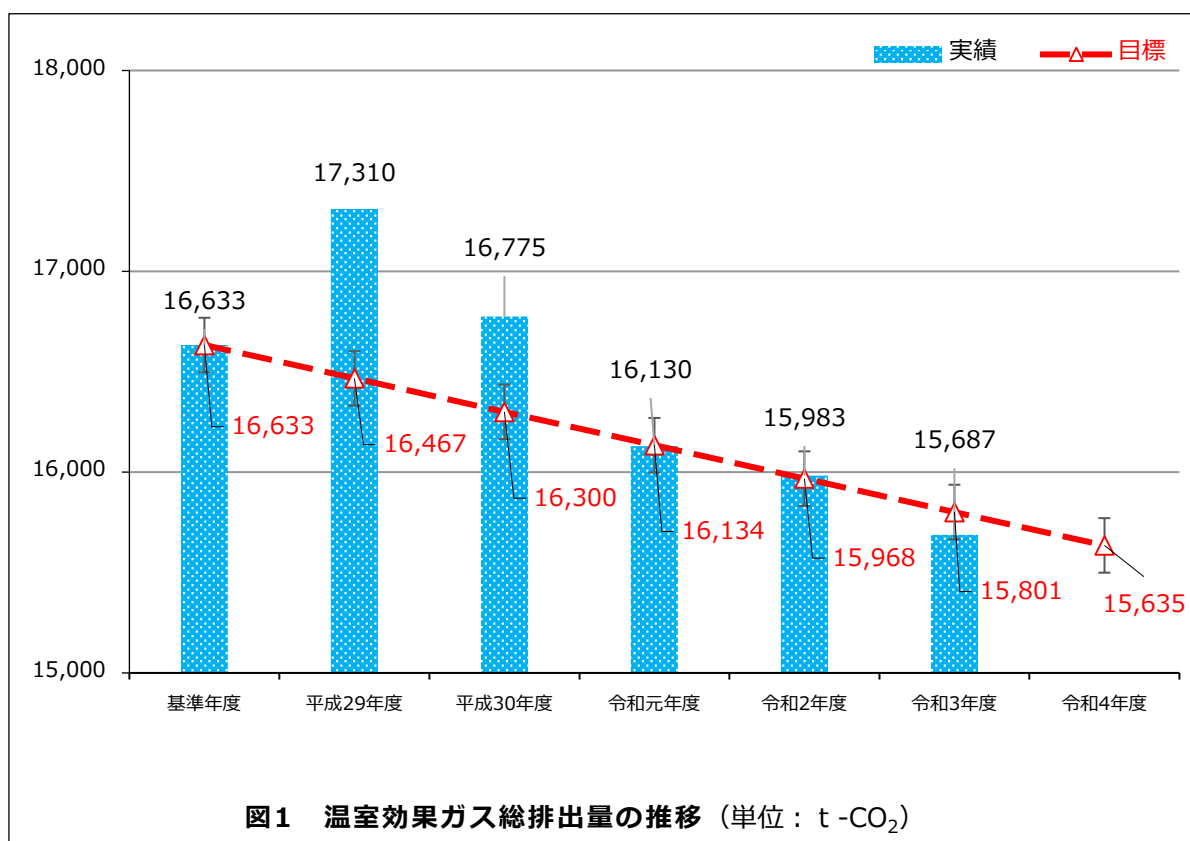
温室効果ガス 1 t を吸収するためには、森林が約 1,000m² 必要となります。



第2章 温室効果ガスの排出状況

1 温室効果ガスの総排出量

令和3年度の市の事務・事業に伴う温室効果ガスの総排出量は **15,687t-CO₂** となり、基準年度比で **5.7% (946t-CO₂)** 減少しました (表2)。この減少した温室効果ガスは、杉の木約67,000本が吸収する効果と同じくらいになります。



温室効果ガス排出量の活動別排出量の推移については表2のとおりとなります。

表2 活動別温室効果ガス排出量の推移 (単位: t-CO₂)

	基準年度 平成27年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	増減量	増減率
燃料の使用	2,068	1,933	1,932	1,791	1,575	1,488	-580	-28.0%
電気の使用	8,707	8,225	8,157	8,127	7,723	7,463	-1,244	-14.3%
廃棄物の焼却	5,846	7,140	6,673	6,200	6,674	6,725	879	15.0%
その他	12	12	13	12	11	11	-1	-8.3%
合計	16,633	17,310	16,775	16,130	15,983	15,687	-946	-5.7%

2 活動別の温室効果ガスについて

(1) 燃料の使用

燃料の使用による温室効果ガス排出量については基準年度と比較して**28.0% (580t-CO₂) 減少**しました(表3)。

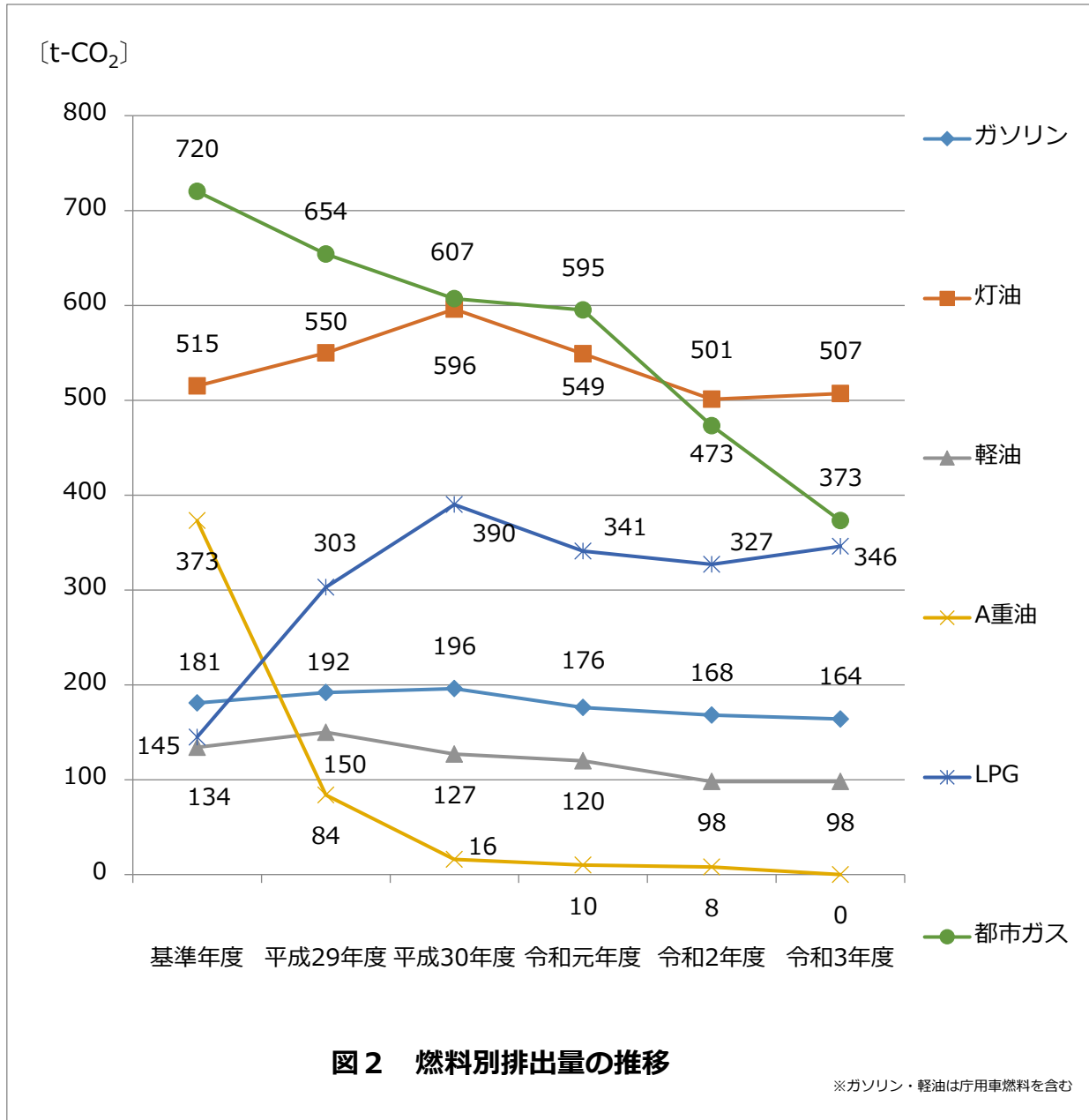
A重油の排出量が減少した主な要因は、学校給食センターの移転や、老人福祉センターの空調機器の故障により、A重油を使用しなくなったことなどがあります。

LPGの排出量が増加した主な要因は、新学校給食センターでA重油の代わりにLPGを使用していることなどがあります。

表3 燃料の種類別温室効果ガス排出状況 (t-CO₂換算)

	基準年度 平成27年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	増減量	増減率
ガソリン	181	192	196	176	168	164	-17	-9.4%
灯油	515	550	596	549	501	507	-8	-1.6%
軽油	134	150	127	120	98	98	-36	-26.9%
A重油	373	84	16	10	8	0	-373	-100.0%
LPG	145	303	390	341	327	346	201	138.6%
都市ガス	720	654	607	595	473	373	-347	-48.2%
温室効果ガス 排出量合計	2,068	1,933	1,932	1,791	1,575	1,488	-580	-28.0%

燃料別の排出量をグラフに示したものは下記のとおりとなります（図2）。
 各項目をみると、基準年度と比較してLPGは増加したものの、他の燃料はすべて減少しました。



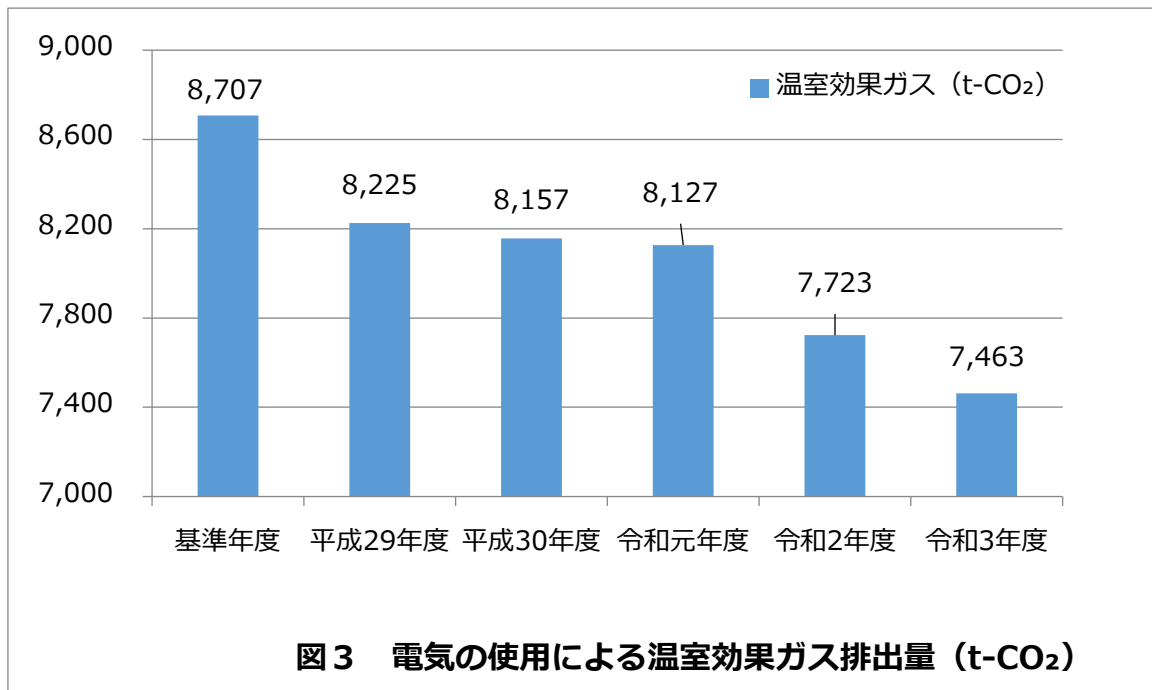
(2) 電気の使用

電気の使用による温室効果ガスの排出量については基準年度比 **14.3% (1,244 t-CO₂) 減少**しました (表4)。

温室効果ガス排出量が基準年度と比較して減少した主な要因は、公共施設全般において、設備更新により電気使用量が減少傾向にあることだけでなく、新型コロナウイルス感染症対策で施設を一時休業するなど、施設の使用頻度が低くなったことがあげられます。

表4 電気の使用による温室効果ガス排出量

	基準年度 平成27年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	増減量	増減率
電気の使用による 温室効果ガス 排出量(t-CO ₂)	8,707	8,225	8,157	8,127	7,723	7,463	-1,244	-14.3%



(3) 廃棄物の焼却

廃棄物の焼却に由来する温室効果ガスの排出量は、基準年度と比較して **15.0% (879t-CO₂) 増加しました (表5)**。これは、廃棄物の焼却量が基準年度よりも0.8% (212t) 減少したものの、温室効果ガスの排出量に大きく影響する廃棄物に含まれる廃プラスチック (ビニール、プラ容器など) の割合が高かったことが影響していると考えられます。一方で、廃プラスチックは焼却することで発生する熱エネルギーが大きいため、廃プラスチックを廃棄物燃焼の燃料として活用するサーマルリサイクルに利用している一面もあります。

廃プラスチックの焼却由来の温室効果ガス排出量については、総排出量の4割程度を占めており、温室効果ガスの削減に大きな影響を与えていますが、市の事務・事業から排出されるごみのほか、一般家庭や事業所などから排出されるごみも算定に含まれるため、市の取り組みだけでは温室効果ガス排出量削減の推進は困難な状況となっています。

表5 廃棄物焼却による温室効果ガス排出量と各種焼却量

	基準年度 平成 27 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	増減量	増減率
廃棄物焼却由来 温室効果ガス 排出量 (t-CO ₂)	5,846	7,140	6,673	6,200	6,674	6,725	879	15.0%

	基準年度 平成 27 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	増減量	増減率
廃棄物の 焼却量 (t)	25,650	26,325	26,539	25,899	26,758	25,438	-212	-0.8%
廃プラスチックの 焼却量 (t)	1,954	2,417	2,247	2,080	2,246	2,272	318	16.3%

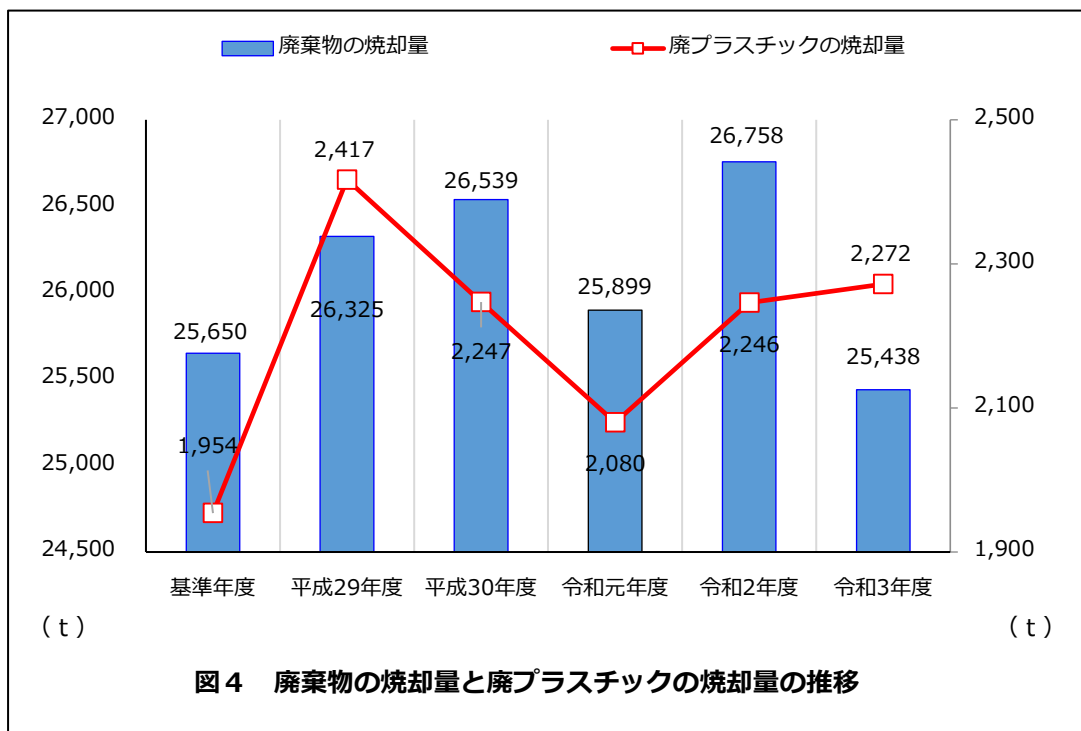


図4 廃棄物の焼却量と廃プラスチックの焼却量の推移

なお、廃棄物の中に含まれる廃プラスチックの焼却量は、廃棄物焼却量とその廃棄物に含まれるプラスチック類比率の2点が大きく影響します。廃プラスチック焼却量は、下図で示す算定方法により、年4回実施されているごみ組成分析結果の水分含有率とプラスチック類比率を基に推計されます。

廃棄物焼却量 × (1 - 水分含有率) × プラスチック類比率		
項目	基準年度	令和3年度
廃棄物焼却量	25,650 t	25,438 t
水分含有率	45.6 %	43.1 %
プラスチック類比率	14.0 %	15.7 %
廃プラスチック焼却量	1,954 t	2,272 t

図5 廃プラスチックの焼却量の算定方法

温室効果ガスの排出量に最も大きな影響を与えている廃棄物（廃プラスチックの焼却を含む）の焼却処分した部分を除いて算定した場合の令和3年度温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して**16.9%減少しました（表6）**。表6、図6に示したとおり、温室効果ガスの総排出量は廃棄物の焼却由来の排出量に大きく左右されていることがうかがえます。

表6 一般廃棄物の焼却由来の排出量を除いた温室効果ガス排出量（単位：t-CO₂）

種類	基準年度 平成27年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	増減量	増減率
燃料・電気・ その他	10,787	10,170	10,102	9,930	9,309	8,962	-1,825	-16.9%
廃棄物焼却	5,846	7,140	6,673	6,200	6,674	6,725	879	15.0%
総排出量	16,633	17,310	16,775	16,130	15,983	15,687	-946	-5.7%

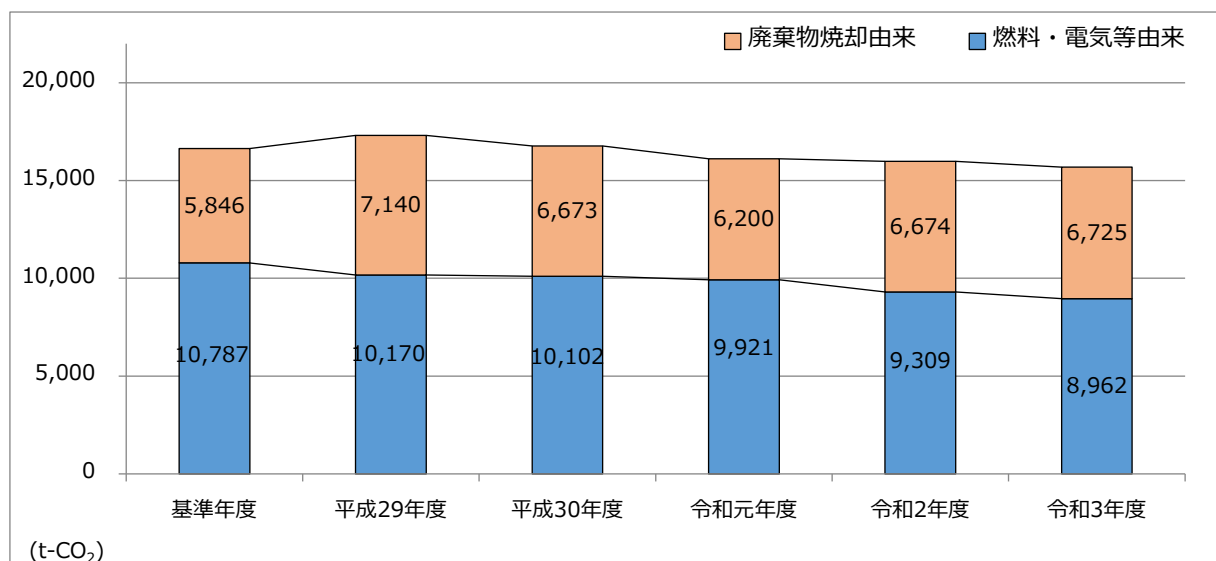


図6 温室効果ガス総排出量における由来別排出量の比較

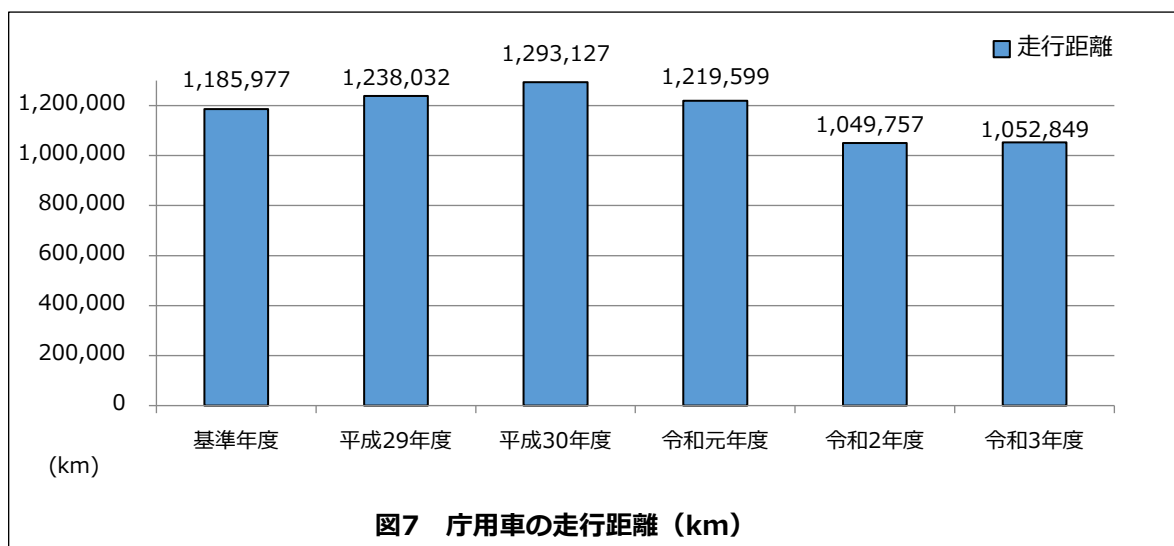
(4) その他

① 庁用車走行距離

庁用車の走行距離については、基準年度比で **11.2% (133,128km)** 減少しました (表 7)。

表 7 自動車の走行距離と温室効果ガス排出量

	基準年度 平成 27 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	増減量	増減率
走行距離合計 (km)	1,185,977	1,238,032	1,293,127	1,219,599	1,049,757	1,052,849	-133,128	-11.2%
温室効果ガス 排出量 (t-CO ₂)	9	9	10	9	7	7	-2	-22.2%



② その他

カーエアコン搭載車数は基準年度と比較して 3 台減少しましたが、カーエアコンの搭載車数から算定される温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して増減はありませんでした (表 8)。

なお、笑気ガス (麻酔剤) の使用はありませんでした。

表 8 その他項目

	基準年度 平成 27 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
カーエアコン 搭載車数 (台)	222	230	225	220	230	219
温室効果 ガス(t-CO ₂)	3	3	3	3	3	3
笑気ガス (麻酔剤) 使用量 (kg)	0	0	0	0	0	0

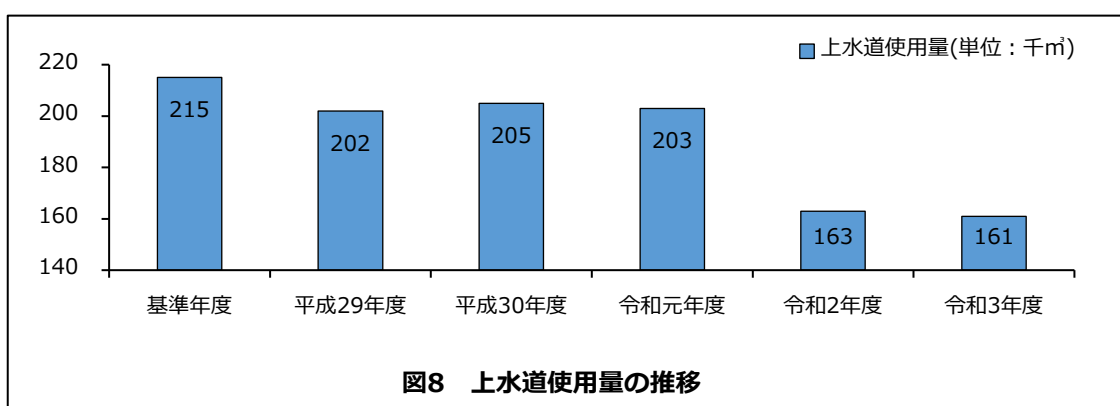
(5) 環境配慮項目（上水道・用紙）の使用量

①上水道使用量

基準年度と比較して **25.4% (54,584 m)** 減少しました (表9)。これは、25m プール約 111 杯分の水道水を削減したことになります。細かな節水の積み重ね等に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、水使用量の多い市民プールなどが一時休業したことが要因と考えられます。

表9 上水道使用量

	基準年度 平成 27 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	増減量	増減率
上水道使用量 (m)	215,254	202,382	205,102	203,182	162,719	160,670	-54,584	-25.4%

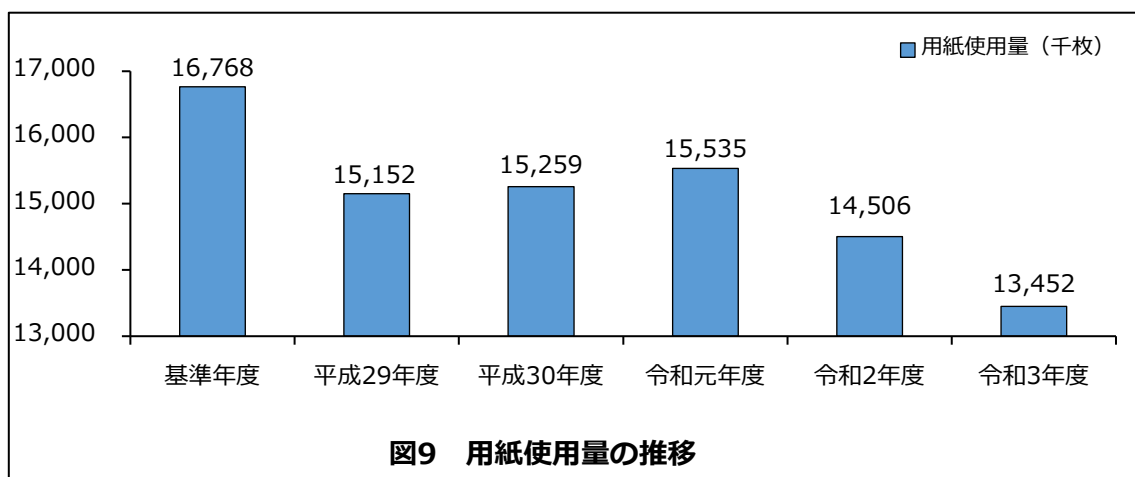


②用紙使用量

基準年度と比較して **19.8% (3,316 千枚)** の減少となりました (表10)。これは、市で購入している A4 コピー用紙 (1 箱 2,500 枚入) 約 1,300 箱分、使用量が減少したことになります。

表10 用紙使用量

	基準年度 平成 27 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	増減量	増減率
用紙使用量 (千枚)	16,768	15,152	15,259	15,535	14,506	13,452	-3,316	-19.8%



3 総括

平成29年3月に策定した「第3期藤岡市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市の事務・事業に対する地球温暖化対策を推進してきました。

計画の目標としては令和4年度までに温室効果ガス総排出量を6%以上削減（1年間で1%以上の削減）することとされていますが、令和3年度の排出量実績は、基準年度と比較して5.7%の減少（P3,表2）となり、目標の5%減少を達成しました。

温室効果ガス排出量の活動別排出量は、燃料の使用による温室効果ガス排出量は28.0%減、電気の使用による温室効果ガス排出量は14.3%減となりましたが、廃棄物の焼却による温室効果ガス排出量は15.0%増となりました。

燃料の使用及び電気の使用による温室効果ガス排出量は、基準年度と比べて減少傾向にあり、令和3年度は大きく減少するなど、設備更新などの効果が出ていますが、新型コロナウイルス感染症対策で施設が一時的休業したことにより、燃料及び電気を使用していないことも大きな要因です。

今後は低燃費車、ハイブリッド車、電気自動車などのクリーンエネルギー自動車の導入推進、省エネ機器への更新などのハード面で対策を行うとともに、職員に対するエコドライブの周知、クールビズやウォームビズの徹底による空調機器の適正利用の推進などのソフト面においても対策を行い、さらに温室効果ガス排出量を削減する必要があります。

廃棄物の焼却による温室効果ガス排出量が増加したのは、新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅で過ごすことが増えたことに伴い、一般廃棄物の焼却量が増加したことや、一般廃棄物に含まれる廃プラスチックの焼却量が基準年度に比べて増加したことで、温室効果ガス排出量が増加したことが大きく影響しています。一般廃棄物、特に廃プラスチックの焼却に関しては、職員の取り組みだけで総量を削減することは困難であり、市民や事業者の協力が不可欠となります。ごみの減量化については、市民・事業者に対するごみの分別と減量化に関する啓発活動を粘り強く行っていく必要があります。

このような中、環境課では「ふじおか5つのゼロ宣言」におけるプラスチックごみゼロ、食品ロスゼロの達成に向けて、ペットボトルからマイボトルへの転換を図るべく、民間事業者と協定を締結し、市有施設に給水スタンドを設置するほか、群馬県の取り組みである「ぐんまちゃんの食べきり協力店」の登録を推進しました。

また、清掃センターでは、一般廃棄物の排出量削減のために、廃食油の回収や剪定枝粉砕機の貸し出しによる剪定枝の堆肥化の推進を実施しています。

市民や事業者への浸透は時間を要しますが、このような具体的かつ継続的な取り組みを行うことが市全体のごみ減量化に繋がると考えられるため、ごみ問題の意識が根付いていくよう啓発活動を続けていきます。

本計画は、市役所の事務・事業に係るものであり、計画の推進には職員一人ひとりの取り組みが重要です。一方で、温室効果ガス排出に多大な影響を与えている一般廃棄物の焼却量は、一般家庭や事業所などから排出されるものを含んでいるため、市の取り組みだけでなく、市民や事業者の協力が不可欠となります。そのため、環境情報の提供を行うことによる、職員の意識高揚を図るとともに、市民、事業者に対する啓発活動を積極的に実施し、本計画に掲げる目標達成に向けて取り組みを進めます。

4 資料

資料1 対象施設一覧

No.	施設名	所管課	No.	施設名	所管課
1	旧みかぼ保育園	企画課	40	みどの学童クラブ	子ども課
2	本庁舎	財政課	41	藤岡中央児童館	森林課
3	中庁舎		42	蛇喰溪谷休憩所	
4	東庁舎		43	清掃センター	清掃センター
5	三波川東集会場		44	鬼石資源化センター	
6	平滑ゲートボール場		45	コミュニティセンターやすらぎ	
7	旧三波川幼稚園		46	保美憩いの広場	
8	旧日野中央小学校		47	ららん藤岡	
9	旧日野西小学校		48	ふじふれあい館	
10	みかぼみらい館		49	土と火の里公園	
11	本庁舎（非常用発電装置）	総務課	50	高山社情報館	農政課
12	旧鬼石総合支所	51	他観光施設等		
13	防災センター	52	農業研修センター		
14	第1分団詰所	地域安全課	53	藤岡かんがい排水施設	農政課
15	第2分団詰所		54	他かんがい排水施設等	
16	第3分団詰所		55	街路灯等	土木課
17	第4分団詰所		56	庚申山総合公園	都市施設課
18	第5分団詰所		57	毛野国白石丘陵公園	
19	第6分団詰所		58	藤岡総合公園	
20	第7分団詰所		59	中央公園	
21	第8分団詰所		60	城山公園	
22	第9分団詰所		61	浅間公園	
23	第11分団詰所		62	旭公園	
24	第12分団詰所		63	北の原公園	
25	第13分団詰所		64	みどり公園	
26	第14分団詰所		65	城址緑地	
27	他消防施設等		66	烏川緑地	
28	偕同苑	市民課	67	神流川緑地	区画整理課
29	保健センター	健康づくり課	68	市民プール（みずとびあ）	
30	福祉会館	福祉課	69	他公園等	鬼石振興課
31	生活介護センター（もくせい）		70	排水施設等	
32	障害者支援センターきらら		71	鬼石総合支所（鬼石公民館を含む）	
33	児童デイサービスセンターふらっと	介護高齢課	72	他便所施設等	にぎわい観光課
34	ふじの花		73	桜山公園	
35	老人福祉センター		74	自然活用管理センター（やどや）	
36	高齢者自立センター藤岡		75	体験学習館（MAG）	
37	高齢者自立センター鬼石		76	譲原農産物処理加工施設天神茶屋	
38	小野保育園		子ども課	77	
39	おにし保育園	子ども課	78	他観光施設等	

No.	施設名	所管課	No.	施設名	所管課
79	中央浄水場	浄水課	107	鬼石小学校	教育総務課
80	北部浄水場		108	東中学校	
81	東部浄水場		109	北中学校	
82	上の山浄水場		110	小野中学校	
83	中倉簡易水道施設		111	西中学校	
84	三友簡易水道施設		112	鬼石中学校	
85	芝平簡易水道施設		113	にじの家	学校教育課
86	鹿島簡易水道施設		114	総合学習センター	生涯学習課
87	塩平小水道施設		115	藤岡公民館	
88	犬目簡易水道施設		116	神流公民館	
89	大栃小水道施設		117	小野公民館	
90	妹ヶ谷簡易水道施設		118	美土里公民館	
91	三波川中部簡易水道施設		119	美九里公民館	
92	他上水道施設等		120	平井公民館	
93	汚水中継ポンプ等	下水道課	121	日野公民館	
94	国民健康保険鬼石病院	鬼石病院	122	藤岡市民ホール	
95	介護老人保健施設鬼石	事務課	123	鬼石多目的ホール	
96	教育庁舎	教育総務課	124	上大塚東組集会所	
97	藤岡第一小学校		125	中原集会所	
98	藤岡第二小学校		126	駒形集会所	
99	神流小学校		127	国指定史跡高山社跡	
100	小野小学校		128	埋蔵文化財収蔵庫	
101	美土里小学校		129	関東管領平井城址公園	文化財保護課
102	美九里東小学校		130	関東管領金山城址公園	
103	美九里西小学校		131	他文化財施設等	
104	平井小学校		132	給食センター	学校給食センター
105	日野小学校		133	図書館	図書館
106	鬼石北小学校				

令和4年3月31日現在

資料 2-1 令和 3 年度 活動別温室効果ガス排出量の内訳

種別	活動項目		活動量	単位	排出量(kg-CO ₂)	構成比	
CO ₂	燃料使用量	ガソリン	70,551	ℓ	163,678	1.043%	
		灯油	203,615	ℓ	507,001	3.232%	
		軽油	38,074	ℓ	98,231	0.626%	
		A重油	0	ℓ	0	0.000%	
		液化石油ガス (LPG)	138,009	kg	346,403	2.208%	
		都市ガス	173,284	m ³	372,561	2.375%	
	電気使用量	東京電力	10,126,120	kWh	4,526,376	28.854%	
		エネサーブ	90,530	kWh	31,414	0.200%	
		シナジアパワー	5,054,538	kWh	2,360,469	15.047%	
		楽天エナジー	711,900	kWh	386,562	2.464%	
		エネット	425,673	kWh	158,776	1.012%	
一般廃棄物 (廃プラスチック) 焼却量		2,272	t	6,294,548	40.126%		
CH ₄	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	174,694	km	44	0.002%
			軽自動車	264,094	km	66	
			普通貨物車	522	km	0	
			小型貨物車	87,924	km	37	
			軽貨物車	272,950	km	75	
			特殊用途車	9,045	km	8	
	軽油	普通・小型自動車	0	km	0		
		普通貨物車	118,651	km	44		
		小型貨物車	17,922	km	4		
		特殊用途車	59,417	km	19		
		バス	47,630	km	20		
一般廃棄物焼却量		25,438	t	604	0.004%		
N ₂ O	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	174,694	km	1,510	0.046%
			軽自動車	264,094	km	1,731	
			普通貨物車	522	km	6	
			小型自動車	87,924	km	681	
			軽貨物車	272,950	km	1,789	
			特殊用途車	9,045	km	94	
	軽油	普通・小型自動車	0	km	0		
		普通貨物車	118,651	km	495		
		小型貨物車	17,922	km	48		
		特殊用途車	59,417	km	443		
		バス	47,630	km	355		
一般廃棄物焼却量		25,438	t	429,816	2.740%		
笑気ガス使用量		0	Kg	0	0.00%		
HFC	封入カーエアコンの台数		219	台	3,132	0.020%	
合計 (CO ₂ 換算量)					15,687,036	100%	

資料 2-2 基準年度（平成 27 年度）活動別温室効果ガス排出量の内訳

種別	活動項目		活動量	単位	排出量(kg-	構成比	
CO ₂	燃料使用量	ガソリン	78,117	ℓ	181,231	1.09%	
		灯油	206,887	ℓ	515,149	3.10%	
		軽油	51,805	ℓ	133,657	0.80%	
		A 重油	137,600	ℓ	372,896	2.24%	
		液化石油ガス (LPG)	57,710	kg	144,852	0.87%	
		都市ガス	334,876	m ³	719,983	4.31%	
	電気使用量	東京電力(株)	13,574,861	kWh	6,855,305	41.22%	
		丸紅(株)	1,912,363	kWh	921,759	5.54%	
		エネサーブ(株)	1,261,108	kWh	799,542	4.81%	
		日本ロジテック協同組合	272,565	kWh	105,210	0.63%	
		(株)エネット	54,643	kWh	24,808	0.15%	
一般廃棄物 (廃プラスチック) 焼却量		1,954	t	5,412,580	32.54%		
CH ₄	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	192,988	km	48	0.00%
			軽自動車	261,225	km	65	
			普通貨物車	0	km	0	
			小型貨物車	112,718	km	42	
			軽貨物車	282,571	km	78	
			特殊用途車	9,259	km	8	
	軽油	普通・小型自動車	0	km	0		
		普通貨物車	124,969	km	47		
		小型貨物車	21,336	km	4		
		特殊用途車	69,129	km	22		
		バス	111,782	km	48		
		一般廃棄物焼却量	25,650	t	609	0.00%	
N ₂ O	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	192,988	km	1,668	0.05%
			軽自動車	261,225	km	1,713	
			普通貨物車	0	km	0	
			小型自動車	112,718	km	873	
			軽貨物車	282,571	km	1,853	
			特殊用途車	9,259	km	97	
	軽油	普通・小型自動車	0	km	0		
		普通貨物車	124,969	km	521		
		小型貨物車	21,336	km	57		
		特殊用途車	69,129	km	515		
		バス	111,782	km	833		
		一般廃棄物焼却量	25,650	t	433,398	2.61%	
	笑気ガス使用量		0	kg	0	0.00%	
HFC	封入カーエアコンの台数		222	台	3,175	0.02%	
合計 (CO ₂ 換算量)					16,632,646	100%	

資料 3-1 令和 3 年度 所属別温室効果ガス排出状況 (CO₂換算 : 単位 kg-CO₂)

所属名	燃料の使用						電気 の使用	廃棄物 の使用	その他※	計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	LPG	都市ガス				
秘書課	3,452	0	0	0	0	0	0	0	173	3,625
企画課	0	0	0	0	0	0	2,202	0	0	2,202
地域づくり課	0	0	0	0	0	88,236	191,721	0	0	279,957
財政課	12,254	10,906	1,128	0	0	120	246,618	0	985	272,011
総務課	0	0	58	0	0	0	401	0	13	472
地域安全課	7,408	0	2,781	0	0	0	28,783	0	493	39,470
契約検査課	371	0	0	0	0	0	0	0	26	397
市民課	418	146,103	0	0	0	305	22,965	0	42	169,833
税務課	638	0	0	0	0	0	0	0	42	679
納税相談課	557	0	0	0	0	0	0	0	69	627
保険年金課	139	0	0	0	0	0	0	0	20	159
健康づくり	742	0	0	0	0	99	0	0	71	912
福祉課	11,619	0	682	0	66	44,011	144,569	0	509	201,456
介護高齢課	6,387	25,261	170	0	0	58	29,774	0	548	55,389
子ども課	2,172	359	0	0	7,908	0	55,303	0	192	67,934
森林課	0	0	0	0	0	0	1,487	0	0	1,487
環境課	2,413	0	0	0	0	0	0	0	114	2,528
清掃センター	13,055	133,855	58,367	0	334	0	1,507,240	6,724,968	1,145	8,438,964
商工観光課	3,835	0	103	0	14,427	0	426,883	0	162	445,410
農政課	4,014	0	0	0	0	0	15,256	0	246	19,517
土木課	7,076	0	0	0	0	0	26,207	0	326	33,610
建築課	1,657	0	0	0	0	0	0	0	107	1,764
都市計画課	1,183	0	0	0	0	0	0	0	80	1,263
都市施設課	9,890	1,786	4,203	0	28	211,717	562,046	0	249	789,919
区画整理課	580	0	0	0	0	0	1,462	0	54	2,096
鬼石振興課	4,830	0	181	0	0	0	24,302	0	306	29,600
にぎわい観光課	3,631	1,728	0	0	13,677	0	76,785	0	92	95,913
経営課	0	0	0	0	0	0		0	0	2,096,904
水道工務課	5,589	0	7,157	0	0	0	2,096,904	0	428	13,174
浄水課	12,839	0	0	0	0	0		0	536	13,375
下水道課	1,631	0	0	0	0	0	20,287	0	103	22,021
議事課	381	0	0	0	0	0	0	0	33	413
農業委員会事務局	418	0	0	0	0	0	0	0	34	452
教育総務課	9,985	817	17,330	0	0	174	887,448	0	1,022	916,776
学校教育課	1,659	52,846	0	0	605	0	9,203	0	129	64,441
生涯学習課	6,220	18,444	0	0	92	320	145,575	0	484	170,722
文化財保護課	6,731	730	0	0	0	0	62,774	0	350	70,585
スポーツ課	1,373	0	586	0	0	0	0	0	68	2,027
学校給食センター	977	0	431	0	257,872	0	380,592	0	98	639,970
図書館	1,464	0	0	0	0	27,520	46,226	0	88	75,298
鬼石病院	16,092	114,167	5,054	0	51,395	0	450,585	0	1,163	638,456
合計	163,680	507,001	98,231	0	346,403	372,561	7,463,597	6,724,968	10,597	15,687,036

※その他…排出活動が「自動車走行距離」「笑気ガスの使用」「封入カーエアコン台数」のもの

資料 3-2 基準年度（平成 27 年度）所属別温室効果ガス排出状況（CO₂換算：単位 kg-CO₂）

所属名	燃料の使用						電気の 使用	廃棄物 の使用	その他*	計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	LPG	都市ガス				
秘書課	3,596	0	0	0	0	0	0		192	3,788
財政課	22,664	13,272	17,335	0	0	151	301,632		1,675	356,729
自治交流課	0	1,175	0	0	73	123,309	343,260		0	467,817
総務課	0	0	57	0	0	0	0		0	57
地域安全課	7,672	0	3,710	0	100	0	25,296		438	37,216
契約検査課	557	0	0	0	0	0	0		33	590
市民課	800	119,164	0	0	0	454	35,282		48	155,748
税務課	742	0	0	0	0	0	0		46	788
納税相談課	1,670	0	0	0	0	0	0		127	1,797
保険年金課	1,253	0	0	0	0	0	0		76	1,328
環境課	2,318	0	3	0	0	0	0		114	2,434
清掃センター	12,115	147,453	59,366	0	637	0	1,757,201	5,849,587	1,211	7,827,570
健康づくり課	1,346	0	0	0	0	254	0		109	1,708
福祉課	10,707	0	0	0	84	271,579	277,565		556	560,491
介護高齢課	8,614	22,759	1,300	2,710	271	531	38,169		520	74,874
子ども課	2,793	50	0	0	12,629	0	66,948		284	82,705
商工観光課	1,578	5,822	0	0	34,897	0	454,717		69	497,081
農林課	1,346	0	0	0	0	0	2,130		72	3,547
農村整備課	4,002	0	0	0	0	0	10,140		187	14,330
土木課	7,313	0	0	0	0	0	29,907		340	37,559
建築課	3,422	0	0	0	0	0	0		193	3,615
都市計画課	10,267	2,637	3,369	0	107	301,345	730,787		305	1,048,819
北隣町周辺土地区画 整理事務所	1,299	209	0	0	36	0	8,308		80	9,932
地域振興課	7,371	498	815	16,260	93	0	52,381		376	77,794
にぎわい観光課	2,923	4,997	0	17,886	16,097	0	126,464		48	168,415
経営課	0	0	0	0	113	0			0	2,466,996
水道工務課	8,097	0	2,064	0	0	0	2,466,883		400	10,561
浄水課	12,366	0	0	10,840	0	0			511	23,717
下水道課	3,153	0	0	0	0	0	12,646		159	15,958
議事課	879	0	0	0	0	0	0		44	923
農業委員会事務局	383	0	0	0	0	0	0		28	411
教育総務課	6,677	1,992	29,990	0	0	269	944,099		1,170	984,197
学校教育課	2,114	61,558	0	0	1,226	0	8,117		151	73,166
生涯学習課	7,292	12,679	0	0	759	1,600	250,043		419	272,791
文化財保護課	6,832	0	1,084	0	0	0	81,116		373	89,404
スポーツ課	2,596	0	851	0	0	0	0		101	3,549
学校給食センター	872	916	929	325,200	13,399	0	177,239		86	518,641
図書館	844	0	1,091	0	0	20,492	55,335		75	77,837
鬼石病院	12,758	119,968	11,693	0	64,331	0	450,958		1,050	660,757
合計	181,231	515,149	133,657	372,896	144,852	719,983	8,706,624	5,849,587	11,667	16,632,646

※その他・排出活動が「自動車走行距離」「笑気ガスの使用」「封入カーエアコン台数」のもの

※所属名は基準年度当時のもの

藤岡市地球温暖化対策実行計画
令和3年度実績報告書

令和4年7月

発行 藤岡市 森林環境部 環境課

〒375-8601

群馬県藤岡市中栗須327番地

電話 0274-40-2264 (直通)

FAX 0274-24-9268

Eメール

kankyo@city.fujioka.gunma.jp
